

観光客および市民アンケート調査結果の分析について

1 観光客向けアンケート調査結果の分析について

(1) 一人当たりの観光消費額

- ア 若い年代ほど消費額が大きい
- イ 青梅市に來訪する目的は年代別でほとんど差がみられないため、純粋に若い世代の方が消費が多い傾向にあると言える
- ウ 観光消費額を上げるためには若い世代を呼び込む施策に力を入れた方が効果的と分析する。

(2) 観光客満足度

- ア 年代による満足度に大きな差はみられない。
- イ 満足度 7 と 8 が全体の約 5 割を占めている。
- ウ 満足度 5 と 6 の人が全体の 3 割を占めているため、この人たちの評価をいかに上げるかが大事と考える。
- エ 満足度 5 と 6 の割合が多いのは 40 代、50 代に比較的多い傾向だが、どうやって評価を上げていくかは更なる分析が必要。

(3) 持続可能な観光に対する認知度

- ア 年代別にみると若い世代の方が認知度が高い。
- イ 「持続可能な観光」や「JSTS-D」など高齢者にとって馴染みにくい言葉が多いことも要因にあると考えられるので、周知の仕方を工夫していく必要があるのではないかと分析する。

2 市民向けアンケート調査結果の分析について

(1) 市民の観光おすすめ度

- ア おすすめ度 8 以上 40.4% であるが、6 点、7 点を合わせると 74.5% となる。
- イ この層の方達をいかに 8 以上に引き上げるかが課題。
- ウ 課題解決のために多かった意見は以下
 - ・ 交通利便の改善（バス、駐車場等）
 - ・ 観光資源の整備（ハイキングコース、公園、青梅駅周辺等）
 - ・ 飲食店の充実
 - ・ 特産品の拡充

(2) 市民の住んでいる満足度

ア おすすめ度 8 以上 44.7% であるが、6 点、7 点を合わせると 78.7% となる。

イ この層の方達をいかに 8 以上に引き上げるかが課題。

ウ 課題解決のために多かった意見は以下

- ・ 衣食住にかかる店舗の拡充（スーパーなど）
- ・ 市街地の街灯設備の拡充（夜道が暗いため）

以 上